



ハイライトよねやま 126

1 寄付金速報 — 2010年度のスタートは… —

2010-11年度が始まって1カ月が経過しました。7月の寄付金は約1億9,700万円で、前年度に比べて5.6%減、約1,200万円の減少でした。特別寄付金が5.6%増と好調である一方、普通寄付金は8.9%減となり、会員数減少に伴うと思われる普通寄付金の減少が、厳しい滑り出しの原因となっています。

今年度の予算目標額は、前年度実績より2,700万円減の13億円としています。日本のロータリアンが誇りとする米山記念奨学事業の発展・拡大のため、今後ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2 新奨学生の募集が始まりました！

2011年4月採用の新奨学生募集が始まりました。地区米山記念奨学委員会からの報告により決定した指定校は全国で442校(前年465校)、被推薦者数は1,643人(前年1,702人)です。この中から地区の選考を経て、新規奨学生約600人が選ばれます。

指定校が推薦者を選考する際の「選考の目安」を提示した地区は28地区で、「日本語運用能力」(24地区)、「国籍が偏らないこと」(22地区)、「ロータリー活動への理解、積極的な協力」(14地区)を挙げる地区が多く見られました。また、今年度は初めて「世話クラブ等でスピーチを行えること」を挙げる地区もあり、米山奨学生としてロータリー活動や世話クラブに対する理解と積極的な参加を期待することを指定校に明示する地区が増えました。

なお、大学・大学院以外を対象とする「地区奨励奨学金」を導入したのは、昨年と同じ5地区9校。大学生と同等の応募資格を有する高専専攻科を指定校とした地区はゼロでした。

※募集要項・申込書はHPからダウンロードでき、8月16日付で当会から指定校へ送付されます



3 トルコと日本の友好に尽くした米山学友が逝く

日本とトルコの友好親善のために尽力していた米山学友、メスット・シェネルさん(2003-04 / 岩井RC)が6月18日、急性心不全のため死去しました。31歳でした。毎日新聞の記事によると、メスットさんは埼玉県川口市でジョギング中に急逝。日本のNPO団体が作成した、日本とトルコの友好を物語る120年前の海難事故救援物語をボランティアで翻訳した本が5月18日に出版され、これが彼にとって最後の友好親善活動となりました。

メスットさんは2001年に「日本トルコ育英会」を創設し、トルコや中央アジアからの留学生に奨学金を支給していたほか、トルコを紹介する音楽コンサートを企画したり、母国で日本留学を紹介するセミナーを開催するなど、両国の親善交流のために骨身を削って活動していました。ボランティア活動について「幸せというお金より高い価値があり、自分自身への約束という、仕事よりも責任を必要とすることであり、何よりも限りない世界」(東京都国際交流委員会発行『れすぱす』01年9月号より)と語っていたメスットさん。「いつか自分もロータリアンになりたい」という願いが叶う前に、帰らぬ人となりました。心からご冥福をお祈りいたします。



4 中国米山学友会上海総会が開かれました

中国米山学友会の第2回総会が7月17日、上海国際会議センターで開かれ、中国全土と日本から集まった米山学友161人と、日本のロータリアン・家族ら253人の400人以上が参加する盛会となりました。今年度の中国学友会会長を務める張晋岩さん(1993-95/鈴鹿西RC)は、今回の主題として「感恩・交流・奉仕」を掲げ、「日本のロータリーへの感謝を伝え、幅広く交流を行い、奉仕活動をスタートする」との学友会活動方針を表明。壇上の学友からは、カウンセラーや世話クラブへの感謝の思いが次々に語られ、会場の各所で旧交を温めるロータリアンと学友の姿が見られました。

趣向を凝らしたプログラムの中でも、最も参加者を驚かせ、感動させたのは、世話クラブへの感謝盾の贈呈でした。今回の参加ロータリアンの所属クラブ全93クラブのうち、実に87クラブが中国の米山奨学生の世話クラブ経験があることから、中国学友会では、各世話クラブに宛てた感謝盾を用意。代表者として関場慶博パストガバナー(弘前RC)に壇上で贈呈した後、学友が各テーブルを回ってすべての世話クラブに贈呈しました。「こんなに立派な盾をもらえるとは思っても寄らなかった」「皆さんの気持ちは必ずクラブで報告します」と、各テーブルでは喜びの声とともに記念撮影が行われていました。会の締めくくりは、「手に手つないで」。広い会場を世代や国境を越えた人の輪で取り囲み、皆で歌う様子は圧巻で、中には感激で涙する学友の姿もありました。



2002年以来、上海学友会の設立と活動を支援してきた中津川RCへの感謝、留学生生活を温かく支えてくれた世話クラブとカウンセラーへの感謝、そして、米山記念奨学金制度を支える日本のロータリーへの感謝——。中国の学友が寄せる深い感謝の気持ちが伝わった今回の総会・懇親会は、学友、ロータリアンそれぞれの胸に感動を刻んで無事終了しました。
※米山記念奨学会HPで、9月中旬、当日の様子を動画で配信予定です



5 スリランカ学友からアジア文化芸術祭<名古屋>のご案内

名古屋大学で経済学博士号を取得し、現在、名古屋で翻訳・通訳会社を営むスリランカ出身の米山学友、エス・エム・ピ・サマラクーンさん(1997-98/名古屋西RC)は、在日スリランカ大使館の依頼を受け、昨年からは母国スリランカの文化を紹介するイベントを主催しています。2回目となる今年は、スリランカの有名な舞踊団のほか、韓国、中国、日本の音楽家を交えて、各国の文化を知り、互いに理解を深める「アジア文化芸術祭」として開催。愛知県、名古屋市、在日スリランカ大使館、中国駐名古屋総領事館など多くの後援を得て、下記の通り実施されます。お近くの方は、ぜひお出かけください。



【日時】: 2010年9月19日(日)19時30分開演(開場は19時から)

【会場】: 愛知県産業労働センター「ウイंकあいち」【料金】: 6,000円(全席指定) 前売 5,000円
チケットの予約・問合せは、ワールドリンク株式会社(TEL:052-799-5658/5659 FAX:052-799-5659)まで
詳細は、<http://www.worldlinkservice.com/> をご覧ください。

※このイベントの収益の一部は、スリランカの恵まれない子どもたちへの奨学金として使われます。

(財)ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281
E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

編集担当: 野津・峯